

平成26年1月～3月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺市
堺商工会議所

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成26年3月17日（月）～平成26年3月31日（月）
4. 回収率

| | 調査対象数 | 回収数 | 回収率 |
|-------|-------|------|-------|
| 建設業 | 200社 | 118社 | 59.0% |
| 製造業 | 200社 | 106社 | 53.0% |
| 卸売業 | 100社 | 58社 | 58.0% |
| 小売業 | 100社 | 57社 | 57.0% |
| サービス業 | 200社 | 112社 | 56.0% |
| 全産業 | 800社 | 451社 | 56.4% |

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、需要の増加等により、資金繰り、雇用人員こそ横ばいであるものの、業況判断はやや改善、売上高、採算はともに改善となっており、多くの指標で改善傾向にある。

しかし、来期(4月～6月期)においては、雇用人員は改善と予測されているものの、業況判断、売上高、採算、資金繰りについては悪化と予測されており、引き続き、市内中小企業の動向を注視していく必要がある。

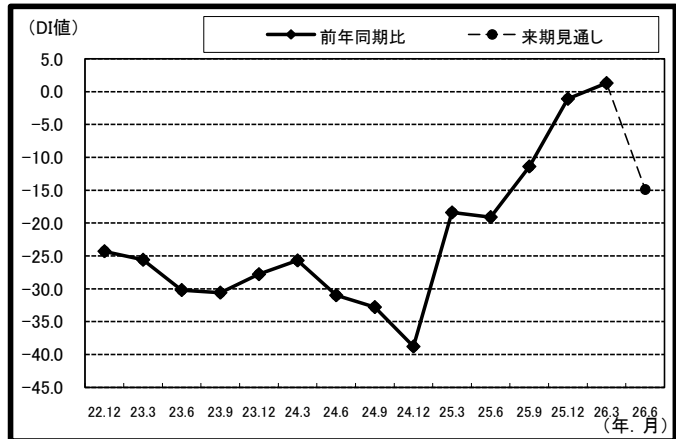
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標はやや改善し、改善傾向は3期連続。
($\Delta 1.1 \Rightarrow 1.3$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($1.3 \Rightarrow \Delta 14.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業は5期連続で改善。卸売業は3期連続で改善。小売業はやや改善し、改善傾向は2期連続。サービス業は悪化。

・前年同期比の指標はやや改善し、改善傾向は3期連続。



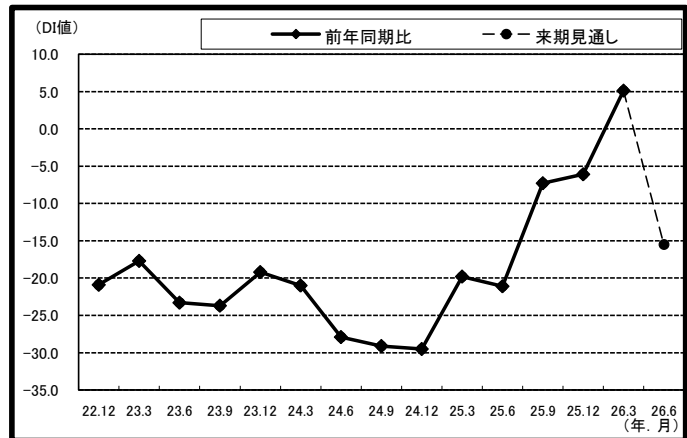
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は改善し、改善傾向は3期連続。($\Delta 6.1 \Rightarrow 5.1$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($5.1 \Rightarrow \Delta 15.5$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は改善。製造業は4期連続で改善。卸売業は3期連続で改善。小売業、サービス業ともに改善。

・前年同期比の指標は改善し、改善傾向は3期連続。



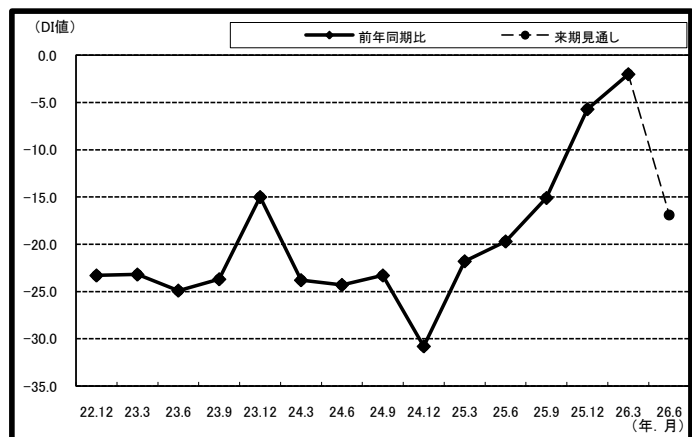
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は改善し、改善傾向は5期連続。($\Delta 5.7 \Rightarrow \Delta 2.0$)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
($\Delta 2.0 \Rightarrow \Delta 16.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業は4期連続で改善。卸売業は3期連続で改善。小売業は2期連続で改善。サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は改善し、改善傾向は5期連続。



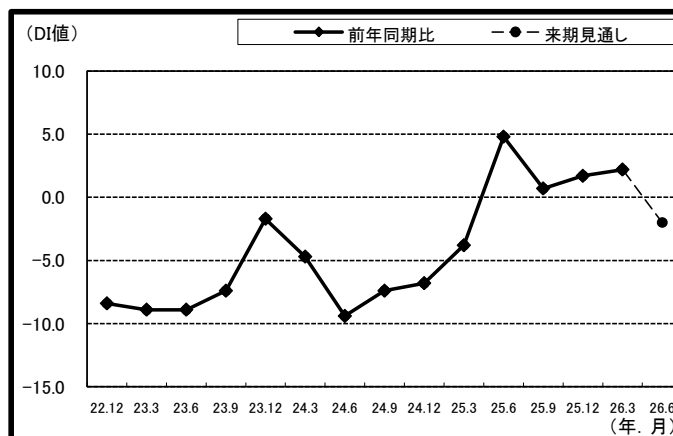
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は横ばい。
(1.7⇒2.2)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
(2.2⇒△2.0)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業は改善。卸売業は2期連続で悪化。小売業は改善。サービス業は横ばい。

・前年同期比の指標は横ばい。



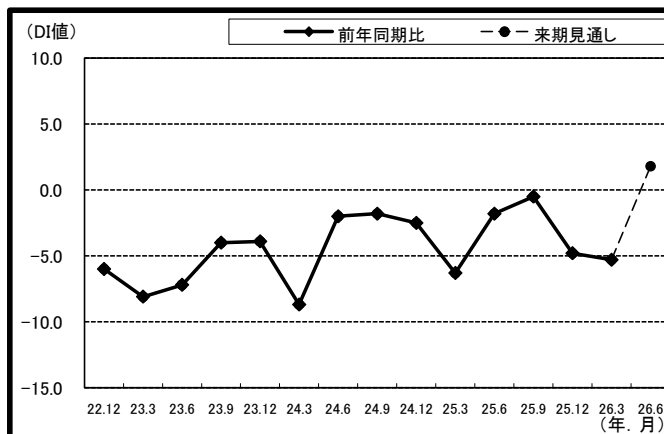
5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は横ばい。
(△4.8⇒△5.3)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△5.3⇒1.8)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業、卸売業、小売業ともに改善。サービス業は悪化し、悪化傾向は3期連続。

・前年同期比の指標は横ばい。



来期見通し

平成25年4月～6月期と比較した平成26年4月～6月期の見通しは、業況判断、売上高、採算、資金繰りは悪化、雇用人員は改善と予測している。

お 問 い 合 わ せ 先

〒591-8502

堺市北区長曾根町 130 番地 23

堺商工会議所

経営支援部経営支援課

TEL 072-258-5581

FAX 072-258-5580